

編集後記

チバ

第4号で、編集長に就任したチバです。宝彩 BB マガジンの発展のために精励いたす所存でございます。読者の皆様におかれましては、これまで同様のご指導ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。これを、もう少し分かりやすく言うとしてね、巻末に掲載してある“おたよりコーナー”に、感想・要望・ご意見等をお待ちしてまっすってことです。スタッフ一同の励みとなりますので、是非“おたより”の投稿をよろしく願います。

Mayur

大好きな栗の季節です。さいきんご無沙汰ですが、かつては田舎から送られてくるたくさんの栗を、果物ナイフひとつで器用にむいたものです。栗が口に入るときのことを思い浮かべながら、実の部分をできるだけ、削らないように。瞑想や日々の修行も、自分を愛おしみつつ、ていねいにくりかえしていきたいものです。

ねぎ

台風一過の空、気持ちよかったですね。心もいつもあんなふうに晴れてたらいいんですけど、晴れたり、くもったり、雨になったり、風が吹いたり。でも記事に書きましたとおり、悪い気分が解消されることを実際に体験して、やはり心はもともと晴れているんだなと分かってうれしかったです。

しずあめ

第3号から間を置かず、なだれ込むように第4号の制作に入り、内心どうなることかとハラハラしていました。でも、杞憂でしたね。編集室スタッフの皆さんが書くことをどンドン自分のものにして、悩みつつも楽しんでいるように感じられました。私も慌たしいはずなのですが、意外にも時間はたっぷりある、不思議な感覚を味わった編集のひとつでした。今号も充実の内容を読者の皆さまにお届けできて、本当に嬉しいです。

あはは

今回もスタッフとして参加できた事を嬉しく思います。宝彩 BB マガジンの編集スタッフに瞑想会で会うと、「あれっ?!こないだ会ったばかりだよね」と実際には1年ぶりの方でも、なぜか、すごく近い存在に感じます。それはきっと、記事の編集、校正等の作業において、お互いの意見を交換し合い、通常より、濃いやりとりがあるからでしょう。私にとってそれは、何よりも生活の中の励みであり、楽しみです。

ひまわり

今の状態の気持ちを文章にして、編集の方の力を借りて、頭と心が整理でき、また新たな段階の修行に進める気がします。修行は、一人でするものですが、修行仲間がいるから続けられると感謝しています。皆さん一緒に楽しく修行しましょう。

パパイヤ

これまでは宝彩BBマガジンの名義上スタッフという感じで、スタッフとしての実質的な活動は殆ど行っていませんでした。でも、前号のダイジェスト版への寄稿、そして今回第4号への寄稿により、ようやく宝彩BBマガジンのスタッフとしての活動ができたなあと感じ、とても嬉しく思っています。そして、書いた記事が編集担当の方々のアドバイスで改良されていく様は面白かったです。マガジンの作成過程を体験できて楽しかったです。

大空旅人

今回は、文章のスタイルを少し変えてみました。これからも、書きやすいスタイルを探したりしながら、少しずつ記事を書いていきたいと思えます。それにしても、編集作業は味わい深いプロセスですね。記事を書く際に、担当の編集者から意見をもらったり、他の作者の記事に編集者として意見を述べたりすることを通して、考えが整理されて明確になったりするのですが、それは何とも言えないありがたいものです。皆さん、ありがとう!

トモ

日々の修行の中で、プログラムがはずれ心が軽くなる感覚は、私にとって修行の醍醐味です。今回は最近あったそんな体験の記事に書かせていただきました。自分の体験をこうして形あるものにする事で、また新たな気づきにつながっていくことを、この宝彩BBマガジンに関わらせていただけて体感しています。次はどんな気づきに出会えるでしょう? それをまた紹介できたらうれしい限りです。このすばらしいすべての出会いに感謝しています。

torami

先日、新しく始まった宝彩瞑想アートセッションに参加してきました。いや〜楽しかった。私は小学校の頃から【上手く】描かねば&描けないコンプレックスがあり、絵画の時間はとても苦痛だったので。でも、ここでは描いていくたびに心が解放されていく感じで、気がついていたらもう、夢中。そして最後には、今までに描いたことのない絵が出来上がっていて、とても嬉しかったです。何もかも初めての体験に感動でした。また、行きます!

黒幕

先日瞑想会に行ったら、百回目の参加だと先生から知らされました。初めて行ったころに比べると、瞑想はあまり進んでいないようだけど、自分という家の中のどこに段差や障害物があるかは、ずいぶんわかってきたように思います。何より変わったのは、自分がこの家の主だという実感が強まったことでしょうか。相変わらず鼠やゴキブリが走り回る家の中ですが、少しずつ片付けたり改装したりして、住みやすい家にしていくつもりです。

宝彩有菜

ありがとうございました。「宝彩 BB マガジン」の制作体制は、6ヶ月ごとに更新ということで、この第4号からは第二次の新制作体制になりました。新編集長「チバ」さんのもと、スタッフ全員みんなが力を合わせて作りました。お蔭様で第4号も素晴らしいマガジンになりました。修行のヒントやノウハウのぎっしり詰まった、読めば読むほど味わい深いマガジンになったと思います。「なにに良いヒントになった? では、実践じゃ、小松茸」